

# SAPPORO 教区 NEWS 第37号

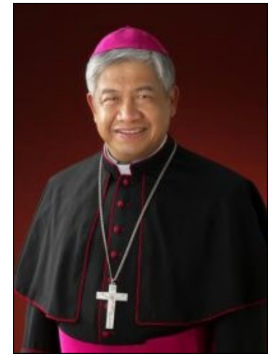
発行：カトリック札幌司教区事務局広報部  
〒060-0031 札幌市中央区北1条東6丁目10

Tel. 011-241-2785 / ホームページ：http://www.csd.or.jp

## 主のご復活 おめでとうございます



2022年2月23日(水)10時30分よりカトリック浦上司教座聖堂で、ペトロ中村倫明大司教の着座式ミサが行われ約300人が集った。これによって中村大司教が第10代長崎大司教(教区長)に就任した。



2022年3月19日(土)10時30分よりカトリック仙台司教区センター元寺

## 喜びの春 仙台・長崎・大分に新しい風

小路教会大聖堂において菊地功東京大司教の司式により司教叙階式が執り行われた。当日はコロナ感染対策により会場は150人以内限定された状態での叙階式であった。

当日はエドガル・ガクタン司教が直前まで主任司祭を務めていた松原教会(東京教区)、東日本大震災後に主任を勤めていた大船渡教会(仙台教区)

の信徒の皆さん、また仙台教区のフィリピン人の皆さんなどが駆け付けた。同僚の淳心会の司祭の中には駆けつけられなかった人も多かったが、仙台教区はインターネット同時配信を行ったため、400名以上の方々と共に映像で喜びを共にした。

直前には東北で大きな地震もあり、不安な中での叙階式であった。しかし、

震災復興時の緊張感の中体験した自身の思いから、「二人で『復興』できる人はどこにもいません」と語り、支えあうあり方を司教のモットー「心も思いも一つに」という言葉で強調され、前任の平賀徹夫名誉司教が復興に向けた仙台教区基本計画の中で表された「新しい創造」という言葉を引用し、人々へ希望と励ましを語られた。



中村大司教は大司教となって初めての説教の中で、今回の大司教着座式に用意されたバクルスに触れ、好きな河野進「説教」という詩の「わたしのよろこびはやつぱり手の説教」という一文を引用し、「私も手が好きです。そして、今回のバクルスにこそ、手をあしらってもらいました。「イエスが神の手となって人々に福音宣教され、その手を通して多くのわざを表され、最後はその手を十字架につけ、そして復活してその手で祝福を与えてくださったことになり、「わたしも、わたしに与えてもらっている手を使って、イエスさまのように、そしてイエスさまとともに、人々にかかわっていきたいと思います。」と語られた。(カトリック

ク長崎大司教区「カトリック教報1103号」より)

【中村倫明大司教略歴】1962年3月21日長崎県西海市大島町生まれ。1988年3月19日に司祭に叙階され、

ローマ留学、小神学校や大神学校での養成者などを経て、2019年5月31日長崎大司教区補佐司教。9月16日司教叙階。2021年12月28日長崎大司教に任命。

### 大分教区被選司教に森山信三師

教皇フランシスコは、4月5日(火)19時(ローマ時間正午)、スルピス森山信三師(福岡教区司祭、カトリック中央協議会事務局長)を大分教区の司教として任命し発表されました。



#### 【森山信三師略歴】

1959年1月17日 福岡市生まれ  
1988年3月 司祭叙階(福岡教区)  
福岡教区内の小教区 主任司祭、幼稚園園長を歴任  
2020年4月 カトリック中央協議会出向  
2021年4月 カトリック中央協議会事務局長  
2022年4月5日 大分教区司教に任命される

## ◆2022年4月1日付 司祭人事◆

## ●札幌地区

○岩見沢・北一条・新田・真駒内教会  
主任司祭 松村 繁彦 師  
(岩見沢・北一条・新田 主任)

○月寒・山鼻教会  
主任司祭 後藤 義信 師 (月寒 主任)  
協力司祭 森田 健児 師 (札幌地区 協力)

○小樽・倶知安・手稲・円山教会  
主任司祭 佐藤 謙一 師  
(小樽・倶知安・手稲 主任)  
協力司祭 新海 雅典 師 (札幌地区 協力)

○江別・大麻・小野幌教会  
協力司祭 ケネス・スレイマン 師  
(札幌地区 協力)

## ●苫小牧地区

○登別・東室蘭教会  
主任司祭 ライヤ・フランシス 師  
(伊達・登別・東室蘭・室蘭 主任)

○伊達・室蘭教会  
主任司祭 蓑島 克哉 師  
(伊達・登別・東室蘭・室蘭 助任)

## ●旭川地区

○旭川五条・旭川六条・大町・神居・富良野教会  
主任司祭 長尾 俊宏 師  
(旭川五条・旭川六条・大町・神居 主任)

## ●釧路地区

○池田・帯広・柏林台・本別教会  
主任司祭 リッターズハウス・フィリップ 師  
(八雲・湯川 主任)  
協力司祭 オール・フランソワ 師  
(池田・帯広・柏林台・本別 主任)

## ●函館地区

○江差・宮前町・元町・八雲・湯川教会  
主任司祭 祐川 郁生 師  
(江差・宮前町・元町 主任)

## ●その他

○サバティカル  
加藤 鐵男 師 (真駒内・円山・山鼻 主任)  
○旭川フランシスコ修道院  
ヒラリオ・シュミット 師 (富良野 主任)  
○教区本部事務局  
桶田 達也 師 (江別・大麻・小野幌 助任)

## ◆2022年2月1日付 司祭人事◆

○療養 近藤 光彦 師 (真駒内・円山・山鼻 協力)

## 訃報



ヨゼフ久野勉神父様は、がん転移からくる腰痛により入院中だったが、2022年2月6日に神様のみもとに召された。享年92歳。  
長きに渡り札幌地区内の小教区及び学校教育、とりわけ幼稚園園長も歴任され、教区を支えてくださった。2月7日8日は一般信徒の弔問を

## 【久野神父様略歴】

1929年 4月 2日 北海道広島郡に生まれ  
同日受洗  
1955年12月21日 北一条教会で司祭叙階  
1956年 3月31日 山鼻教会助任  
1956年 9月 1日 円山教会助任  
1958年 3月31日 北一条教会助任  
1961年 3月31日 新田教会主任  
1965年 4月 1日 住ノ江教会主任  
1973年 4月 1日 光星高校専任教諭  
1981年 4月 1月 岩見沢教会主任  
岩見沢天使幼稚園園長  
1989年 4月 1日 北一条教会主任  
聖園幼稚園園長  
1993年 4月 1日  
花川マリア幼稚園園長兼任  
1999年 4月 1日 倶知安教会主任  
倶知安藤幼稚園園長  
2008年 4月 1日 花川・手稲主任代行、  
倶知安藤幼稚園園長  
2008年11月 1日 花川・手稲教会協力  
2022年 1月17日 手稲溪仁会病院に入院  
2022年 2月 6日 帰天 享年92歳

受け、葬儀はカトリック北一条教会にて2月8日9日に司祭団と近親者にて執り行われた。  
なお、ご遺骨は納骨式(9月25日)を予定まで札幌教区カトリックセンター地下納骨堂・クリプト札幌に安置されており、自由に墓参することができます。



札幌市白石区本通墓地内に  
司祭・修道者・信徒ならび  
にその家族を対象とした共  
同墓(合葬)があります。



札幌市白石区平和通10丁目北5-1

## ■お問い合わせ・納骨申込受付は…

札幌教区本部事務局 (札幌教区カトリックセンター2F)  
平日 9:00~17:00 電話:011-241-2785

### 祭壇奉仕者選任式 ペトロ・千葉充神学生

2022年3月21日、カトリック北一条教会司教座聖堂において、ペトロ・千葉充神学生の祭壇奉仕者選任式が勝谷司教の司式で行われた。

勝谷司教は冒頭に、「祭壇奉仕者が仕えるこの祭壇は、社会や家庭の中で多くの困難を抱え、小さくされている方たちに繋がる愛の食卓であるのだから、祭壇で奉仕する際は、とくに弱者や病者に誠実な愛を示すようにしてほしい」と千葉神学生にエールを送った。

祭壇奉仕者に選任された千葉神学生は、参列者と司祭団に向かって感謝の意を述べるとともに、「引き続き主に信頼しこの道を誠実に歩み続けます」と固い決意を表明した。

(葺島克哉)



勝谷司教よりカリスを授かる千葉神学生

### ロシアとウクライナ 教皇様と心をあわせ平和を願う

教皇フランシスコの呼びかけを受け、3月25日午後6時半、カトリック北一条教会において勝谷太治司教司式により、ウクライナとロシアを聖母マリアの汚れなきみ心に奉獻するミサが捧げられた。



説教台にはロシアとウクライナの国旗が掲げられた

平日の夜であったが、60人ほどが参加、多くの犠牲者と戦火に苦しむ人々のため、そして一日も早い収束を願い、心を合わせ祈りを捧げた。

### カリタスジャパンでは 「ウクライナ危機人道支援」 緊急募金を受付しています

- ▶郵便振替：00170-5-95979
- ▶加入者名：宗教法人カトリック中央協議会 カリタスジャパン
- ▶記入欄には「ウクライナ危機支援」と明記のこと

## 新たな典礼への旅 ②

2022年待降節からミサ式次第と奉献文(ミサの中心的祈り)が変わります。この「改訂」について4回に渡って要点をお伝えします。

教区典礼委員会 委員長 上杉昌弘神父

▼1. 2022年1月号①回目の記事で書いたことは、「ミサ式次第日本語版が変わります。それは、時代の变化と共に変化する言葉の意味合いに合わせ、主イエスの言葉がその時代の人々に伝わりやすくなるために」と書かせて頂き、また主な変更の指針について触れました。直接的には、世界諸民族の秘跡となることを願うカトリック教会昔は公会堂と呼んでいた：みんなの家：の意味か共通の典礼規範版(第3版2002年3月発行)に沿っての忠実な訳などの指針にあります。

▼2. 今、2021年10月出版のえんじ色のテキストを取り寄せて準備始めている所も多いことでしょう。まず、この本のタイトルに注目すると、「新しい『ミサの式次第と第一〜第四奉献文』の変更箇所 2002年11月27日(待降節第二主日)からの実施に向けて」とあり、今回の変更が、四つの奉献文のみであること(閉祭と水の祝福の祈りも一部も承認)です。祭壇で使う厚く赤い本「ミサ典礼書」の半分を占め、ミサごとに選択する「公式祈願」集も、また他の奉献文なども、ミサの真ん中あたりで唱える「叙唱」(心を込めて神を仰ぎ：から聖なるかな：までの荘厳な祈り)も多く含まれています。今後長い年数をかけて完成されていくものでしょう。

▼3. なので、今後しばらく旧版と新版の両方の祈りを併用することになります。公式祈願や叙唱の他、ミサ歌唱のための曲作り、葬儀、集会祭儀などの儀式書の変更もあるでしょう。併用の煩雑さや馴染んだものの変化に戸惑いますが、生きているのだから絶えず成長し変化するもの、と弁えていけたらよいと思います。

▼4. お知らせ：えんじ色の「新しいミサの：箇所」の本は、260円と安い？ですが、これは変更の説明がよく書かれていて、準備学習に適しています。しかしミサ中には使いづらいかも、です。会衆用には、まもなくカトリック諸出版社から発行されていきます。例えばオリエンスが6月発行を目指していると聞くと、購入は様子を見てからでも遅くないでしょう。

▼5. このえんじの本は、儀式書ではありません。祭壇などで使う字の大きな公的な儀式書は、実施二月前頃、つまり9月下旬頃にカトリック中央協議会より発刊予定です。

▼6. この教区ニュース紙面では、私の力量不足もあり、なかなか具体的変更点を解説できません。そこで、カトリック新聞連載の「新しいミサの式次第の実施に向けて」をお勧めします。コピーしたり、解説して頂いたり役立つと思います。2021年11月28日第4601号からすでに6回掲載。



(次号へ続く)

# 2021年カトリック札幌司教区教勢報告書

2021年1月1日～12月31日

教区総面積	78,421 km <sup>2</sup>	(北海道地勢2014年8月14日現在)
教区総人口	5,148,383 人	(住民基本台帳2021年12月31日現在)

※ ( ) は前年値		
在籍信徒数	15,293 人	( 15,551 人 )
教役者合計	312 人	( 317 人 )
信者総数	15,605 人	( 15,868 人 )
求道者数	96 人	( 110 人 )
洗礼者数	115 人	( 92 人 )
初聖体	58 人	( 52 人 )
堅信	57 人	( 62 人 )
居所不明	1,512 人	( 1,390 人 )
死者	237 人	( 225 人 )
婚姻件数	16 人	( 12 人 )
信徒同士	2 人	( 2 人 )
信徒と他キリスト教	0 人	( 0 人 )
信徒と非キリスト教	9 人	( 9 人 )
他宗教同士	5 人	( 1 人 )

教会現勢報告にご協力いただきましてありがとうございました。

教会名	信 徒 数			異 動					
	男	女	合計	転入	転出	幼児洗礼	成人洗礼	死者	求道者
1 岩見沢	111	147	258	2	2	0	0	7	2
2 恵庭	49	56	105	1	0	3	0	1	1
3 江別	50	74	124	0	8	0	1	3	1
4 大麻	93	140	233	7	2	0	2	2	1
5 北一条	293	493	786	19	4	5	9	10	13
6 北十一条	670	1,157	1,827	8	21	3	9	28	3
7 北二十六条	267	418	685	7	4	3	3	9	2
8 北広島	186	289	475	5	2	1	5	11	2
9 倶知安	29	49	78	6	1	0	0	0	0
10 小野幌	184	301	485	1	10	2	7	4	2
11 新田	55	81	136	0	2	0	0	1	0
12 小樽	76	228	304	0	1	0	2	8	0
富岡聖堂									
13 千歳	60	119	179	1	1	1	0	0	1
14 月寒	239	398	637	10	3	5	6	17	4
15 手稲	172	267	439	0	2	0	1	5	1
16 花川	72	116	188	1	2	0	4	1	2
17 真駒内	213	352	565	6	2	0	6	10	0
18 円山	358	623	981	7	8	0	12	15	7
19 山鼻	300	460	760	9	6	1	4	11	1
<b>札幌地区計</b>	<b>3,477</b>	<b>5,768</b>	<b>9,245</b>	<b>90</b>	<b>81</b>	<b>24</b>	<b>71</b>	<b>141</b>	<b>43</b>

教会名	信 徒 数			異 動						
	男	女	合 計	転入	転出	幼児洗礼	成人洗礼	死者	求道者	
20	江差	2	8	10	0	5	0	0	0	0
21	当別	62	73	135	0	0	0	2	10	0
22	宮前町	254	406	660	2	2	0	1	4	1
23	元町	83	157	240	2	0	1	2	2	2
24	八雲	24	50	74	0	0	0	0	0	0
25	湯川	208	349	557	0	0	0	0	9	0
<b>函館地区計</b>		<b>633</b>	<b>1,043</b>	<b>1,676</b>	<b>4</b>	<b>7</b>	<b>1</b>	<b>5</b>	<b>25</b>	<b>3</b>
26	網走	27	28	55	1	0	0	0	1	3
27	遠軽	13	16	29	0	0	0	1	2	1
28	北見	89	174	263	1	1	0	1	0	7
	美幌(巡回)									
29	紋別	6	6	12	0	0	0	0	0	3
<b>北見地区計</b>		<b>135</b>	<b>224</b>	<b>359</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>14</b>
30	旭川五条	107	173	280	7	4	0	1	10	0
31	旭川六条	99	159	258	5	3	0	1	3	3
32	枝幸	9	7	16	0	0	0	0	0	0
33	大町	57	124	181	0	3	0	0	2	0
34	神居	39	63	102	0	0	0	0	5	0
35	士別	19	25	44	0	0	0	0	1	0
36	砂川	21	45	66	0	0	0	1	0	8
37	滝川	46	70	116	0	1	1	1	0	5
38	名寄	28	57	85	1	1	0	1	3	0
39	羽幌	10	17	27	0	0	0	0	0	0
40	美唄	17	45	62	0	0	0	0	2	8
41	富良野	25	47	72	0	1	0	0	2	3
42	留萌	57	97	154	1	2	0	0	1	0
43	稚内	41	43	84	0	0	0	0	1	0
<b>旭川地区計</b>		<b>575</b>	<b>972</b>	<b>1,547</b>	<b>14</b>	<b>15</b>	<b>1</b>	<b>5</b>	<b>30</b>	<b>27</b>
44	池田	19	34	53	0	0	0	0	0	0
45	帯広	156	231	387	1	2	0	0	2	0
46	釧路	232	355	587	2	4	0	2	12	1
	新川集会所 厚岸(巡回)									
47	中標津	57	101	158	0	2	1	0	1	0
48	根室	6	21	27	0	0	0	2	2	0
49	柏林台	80	123	203	2	0	0	0	2	0
50	本別	9	14	23	0	1	0	0	1	1
<b>釧路地区計</b>		<b>559</b>	<b>879</b>	<b>1,438</b>	<b>5</b>	<b>9</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	<b>20</b>	<b>2</b>
51	苫小牧	189	304	493	5	1	0	0	6	0
52	静内	18	18	36	0	4	0	0	1	1
53	伊達	61	113	174	22	0	0	0	1	5
54	登別	33	39	72	0	0	0	0	1	0
55	東室蘭	40	91	131	0	4	1	0	4	0
56	室蘭	42	80	122	0	0	0	0	3	1
<b>苫小牧地区計</b>		<b>383</b>	<b>645</b>	<b>1,028</b>	<b>27</b>	<b>9</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>16</b>	<b>7</b>
<b>合 計</b>		<b>5,762</b>	<b>9,531</b>	<b>15,293</b>	<b>142</b>	<b>122</b>	<b>28</b>	<b>87</b>	<b>237</b>	<b>96</b>

### 一月司祭月例会報告 カリタス家庭支援センター 閉所に伴う研修

月例会で元カリタス家庭支援センター（以後センター）職員である梅原公子さん、岡田惟史さんによる研修講話が行われました。これまでセンターで関わってきた「生きづらさを抱える人たち」との関わり方について、これまで得てきた知見や経験を踏まえ、これからそのような人たちに對し、司祭がどのように対応していけばよいかを学びました。

センター閉所に伴って作成された2つの冊子「困りごと事例&福祉情報小冊子」と「生活支援ガイド」の使い方の説明、さらに実際に扱った事例などについての紹介があり、グループに分かれ司祭どうしの経験談を分かち合う時間も設けられました。多くの教会で、困っている方や生きづらさを抱えている人からの、電話が来ている事例が分かち合われ、経験を共有するよい時間となり、講師を務めた岡田さんも「教会にも多くの電話がかかってくるんですね。」と感想を述べられていました。（佐久間力）

### 教区正義と平和協議会 久しぶりの対面講演会

教区正義と平和協議会は、2022年4月2日（土）、札幌教区カトリックセンターにおいて、上智大学国際教養学部・

中野晃一教授を招き、「平和憲法を守るために求められること」と題して講演会を行った。



カトリックセンターでの参加は44名、オンラインでの参加は道内外から38名となり、久しぶりに実施された対面の講演会に、参加者は「集つこと」の喜ぶを分かち合った。

講演で中野教授は、昨秋の衆院選の結果、またロシアのウクライナ侵攻を受けて軍備の必要を唱える声が大きくなってきた今、平和憲法はいよいよ危ない局面であると話され、さらに、投票率の低さ、マスコミの偏向、あまりにも男性中心であること、経済の暗い見通しなど、悪い所を正面から捉える必要を説かれた。

中野教授の講演会は、2015年、2018年に続いて3回目。私たちカトリックの後盾者としての心強さを感じている。求める平和を実現するために、自信を持って取り組んでいきたいと思う。（札幌教区正義と平和協議会副代表・佐藤裕子）



政治を理解するための中野教授のYouTube「プロGRESS! チャンネル」  
[https://www.youtube.com/channel/UC583xtn\\_Q2O2htmDBIHXXKQ](https://www.youtube.com/channel/UC583xtn_Q2O2htmDBIHXXKQ)

「ここに何かを書くように」と言われたのは半月程前のことでしたが、その時は昨年七月二十日に亡くなった渡辺義行神父さんのことでもちよつと書かせてもらおうかと、編集の方と語っていました。この社会情勢の中で行き来もできず、しばらくは会うこともなく、伝言のようなもので連絡し合うだけになっていました。

先立たれて心残り多くありましたが、渡辺神父さんが送ってくれた釧路の地方紙に書いたものなど探し出して、思い出すことなど書いてみようかと思っていました。彼はユーモアにあふれた。彼はユーモアにあふれた。自分の失敗談など語りつつ、きびしい教訓をやさしい言葉で伝えてくれる人でした。

そういう思いを出して出ていこうと日々心掛けていました。そんな日々の朝に、毎朝の日課のようになっているインターネットの書き込みをみていました。二月六日のことでしたが、信徒の方からのもので、「今日は中江神父様のご命日です」とあり、中江神父様のやさしさ、物静かな様子と、弱った体力を乗り越えようと努力

の限りを尽くす姿が書かれていました。そうか、今日は中江神父さんの命日だったかと教えられ、説教壇で極限の声で語って拍手を誘い、椅子に腰かけながら、洗礼志願の方や幼児たちに丁寧な祝福を授けていた姿を思い出しました。



### 「去りし友たち」 カトリック北広島教会 協力司祭 久保寺 緑郎

者でした。写真に残る北十一条東二丁目東側の小神学校と北東角にあったフランススコ修道院は共に金属板で覆われた両方も似たような建物でした。久野神父さんはその小神学校の最後の入学者でした。久野神父さんは司祭ダイヤモンド祝の記念を二〇一六年二月十一日にパリミッシヨン会口ー神父さんと一緒にお祝いされました。久野神父さんはその年四月に、歴任された各教会の教会報巻頭に書かれた自筆の文集を発行し私たちに遺してくださいました。大変貴重なものと感謝の心でいっぱいです。小学校終了と同時に小神学校に入り、その閉校と共に光星学園の修道院に托されて、司祭志願者小神学生として歩み続けられます。あの

司教館からファックスが届き久野神父さんの訃報でした。一月二十四日のオンラインでの定例会議後、勝谷司教様と事務局長が久野神父さんの入院先に急行と聞いていました。もしやとは思っていましたが、いつもお元気な姿が印象深かったので、大変驚きました。久野神父さんは昭和四十年生まれ、戦前にあった小神学校最後の入学祈るならば支えが与えられるでしょう。（サムエル 一七）

### 北海道カトリック幼保連盟主催 2021年度新任研修会

去る3月29日午後、標記研修会がオンラインで開催されました。参加者は北海道各地から、4月にカトリック園で勤務を始める新任の方々、当連盟主催の新任研修を未受講の方々、そしてスタッフ合わせて約七〇名がオンラインで集いました。

プログラムは勝谷司教様のご挨拶と祈りによって始められ、サレジオ会の濱崎敦神父、カトリック園での経験豊富な菅野由理園長(東京/晃華学園暁星幼稚園)の講話に続き、小グループに分かれての時間が設けられ、最後は全体会で終了しました。

Zoomを介してですが、膨らむ期待と程良い緊張感が伝わってくる研修でした。(品田典子)



新任職員に執務室からZOOMで挨拶とエールを送る勝谷太治司教

また、NWNと併せて開催される青年連絡協議会は、各教区の青年代表者や青少年の担当司祭らが、教区の垣根を越えた活動について話し合いをおこなう場で、今回もコロナ禍のためオン

2022年2月に横浜教区にて開催予定だったネットワークミーティング(NWN)は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となっていました。コロナ禍により集まること

### 青年活動報告 全国カトリック青年大会 2年越しの開催に向けて

ライン開催となりました。今後のNWNの開催についてや、外国籍の青年たちとどのように関わっていくことなどが話し合われました。

2020年に開催される予定だった青年の大会「Japan Youth Day」(JYD)が、ついに来たるゴールデンウィークに開催予定です。テーマは「Christus vivit!それでも私はキリストと生きる」。

企画しています。開催地は横浜で、北海道からは遠いですが、是非素晴らしいひと時になるはずですので、興味のある青年の皆さまは「参加ください！」(北26条教会・武川こまぎ)

北海道で技能実習生の存在が話題になり始めた2015年夏、非正規労働者の支援活動に携わる友人から「非正規労働の現場と技能実習生の現場が似ているような気がするの、勉強したい」という話があった。その時点で札幌にも在任外国人を対象とした支援はあり、法律、医療、言葉、在留資格、子ども等それぞれの現場で活動していたし、なんらかの接点もあった。しかし、「技能実習生」に特化したものはそれまでなかつたので、まずは技能実習生問題に関してわかっていない弁護士で私の元上司が法律事務所を拠点に集まり始めた。メンバーは、農業や経済に関係する大学研究者、議会で技能実習生問題を取り上げる議員、指紋捺捺問題時から外国人の課題に関わっている教会関係者、労働組合、マスコミで働く人々など。2ヶ月に一回程度の割合で集まり、お互いの領域に関して学ん

だり、情報共有を続けたりしながら、緩やかなネットワークを広げていった。そのメンバーの一人の働きかけによって、北海道新聞社から北海道の技能実習生に関する本を出版した。「お隣は外国人 北海道で働く、暮らす 「よそ者」から共生へ」18人が論じる技能実習生のいま」である。それぞれが自分の現場から感じたことを書いたのだが、まとまったものができると思っ

# 北国のシスターズ

## 心を尽くし、霊を尽くし、精神を尽くして主なる神を愛せよ

### 聖ヴィアンネ会（在俗会）



聖ヴィアンネ会は、1963年6月2日（聖霊降臨）、富澤孝彦司教の認可によって旭川市に創立された奉獻生活の会です。会名と保護の聖人はアルスの聖ヴィアンネ司教によります。現在の会員数は6名、会長は石井経子。

- ・自分に与えられた仕事を行うこと
- ・祈りを愛すること
- ・清貧を愛すること
- ・貞潔を愛すること
- ・従順を愛すること
- ・隣人を愛すること



#### 【本会の目的】

キリストの愛の教えの実践を旨とするカトリック信徒として、特に小教区付属幼稚園のために献身的に働き、神の国の発展のために自分の生活を捧げること。キリストに対する完全な愛は、祈りのため、また会の仕事のためにも大切な条件であります。

#### 【本会の活動】

幼児教育を通して園児や保護者に福音を伝えることを目指し、会員たちが北海道内の複数の園に奉職。現在は高齢化のため、わずかに学校法人聖ヴィアンネ学園旭川白百合幼稚園のみ。しかし高齢化後も小教区のお手伝いを様々なかたちで行っております。

#### 【本会の生活の規律】

本会の生活と規律の根本はキリストの教えられた愛の掟です。「心を尽くし、霊を尽くし、精神を尽くして主なる神を愛せよ。これが第一の最大の掟である。第二のもこれと似ている。隣人を自分のように愛せよ。」

#### 【会員の守るべきこと】

- ・キリストの神秘体である教会を愛すこと

常に聖霊に導かれているキリストの神秘体である教会を愛するために、会員は教会の指導に対して素直に従順をつとめ、大きな信頼をもって教皇をはじめ、教区の司教のことばに従い、すべての司祭をキリストのために尊敬し、彼らのために熱心に祈り、多くの司祭が与えられるよう、自分の仕事を捧げます。特に初木曜日の仕事、祈り、犠牲などを、その意向にしたがって捧げます。



## 訃報

### ◆聖ヴィアンネ会



ルチアきこ寺ち祥子子  
小野（元会長）

病氣療養のところで旭川厚生病院にて2021年12月30日午後0時31分、神様のみもとに召されました。享年78歳

#### 【略歴】

- 1943年2月27日 生まれ
- 1962年12月25日 受洗
- 1965年3月25日 入会

### ◆殉教者聖ケオルギオの フランシスコ修道会



Sr.M.コンラード  
目黒 秀子

急性肺炎で療養中のところ、入院先の月形町立病院にて2022年2月6日午前7時1分、神様のみもとに召されました。享年98歳

#### 【略歴】

- 1923年9月20日 生まれ
- 1943年4月24日 受洗
- 1947年8月23日 入会
- 1955年11月23日 終生誓願
- 2009年1月23日 ダイヤモンド祝

## あとかたり 編集後語

年度初めはあわただしい変化の季節。進学した学生は新しい学校へ、新社会人は社会へ。いろんなことが変化します。

しかし基本人間は変化することを嫌う生き物です。それは変化は痛みを伴うからです。例えば体を鍛えるとき苦しいトレーニングを乗り越えますが、その先には肉体の発展があるからこそであり、この苦しみを避けていては成長も上達もありません。このように変化というのは苦痛ばかりをもたらすわけでもなく、大きな喜びがあるからこそ痛みを乗り越えることができると言えます。

まもなく復活祭。イエス様の体験した死と復活とは、最高に大きな痛みを伴う変化であったと言えるでしょう。耐え難い苦痛の先には永遠の命があることをわたしたちに示してください。たイエス様。これは神秘的な変化です。この新しい変化の季節に主の死と復活を黙想しながら、新しい自分としての歩みを進めていきたいものです。

（佐久間力）